

令和5年度第1回日田市中小振興推進会議委員発言記録（概要）

日時：令和5年5月24日（水）14：00～

場所：日田市役所4階 庁議室

【協議事項 委員長選出について】

- ・日田市中小企業振興推進会議要綱により、委員長職について説明。
- ・事務局から委員長職案を提案。

○委員

- ・異議なし

【協議事項 令和5年度中小企業振興施策について】

○事務局

- ・資料①により令和5年度中小企業振興施策について実績と併せて説明。
- ・令和5年度の主な事業5つの基本方針ごとにまとめたもの。
- ・実績は当該事業の令和4年度の実績を示している。

○D委員

- ・令和4年度予算と実績があるが、令和5年度予算がないものはどうしてなのか？

○事務局

- ・事業効果の検証を行ったうえで、事業の中止を決定したものです。

○H委員

・中小企業者を支える様々な補助事業ありがとうございます。様々な補助事業の中で、要望が多く予算を超えてしまう事業と予算が余る補助事業が存在してくると思いますが、その対応について伺いたい。

○事務局

・基本的には、予算が上限に達した場合、当該年度の補助事業は打ち切りとなります。しかし、社会的情勢や要望が高い事業については、協議を行い、必要に応じて他事業からの予算の流用や補正を行っております。

○H委員

・令和5年度予算がない事業でも、要望があれば予算をつけていただくとありがたいと思います。

【協議事項 中小企業実態調査について】

○事務局

- ・資料②により中小企業訪問調査（案）および調査票について説明。
- ・調査結果の報告については、振興推進会議で行う。
- ・例年は、企業を訪問して実態調査を行っていたが、今年度は、中小企業振興計画の目標改定年のため、例年の50社調査でなく、より多くの企業実態調査を行う。
- ・調査件数は、日田市内の事業所1,000社とし、令和3年経済センサス活動調査（速報）の割合に応じて各業種の件数を算出したもの。
- ・調査実施期間は、6月を予定している。
- ・調査項目は、「新型コロナウイルス感染症の影響について」市が行った支援策と「原油・物価高騰について」の2項目を追加した。

○委員長

- ・調査対象1,000社のうち何割ぐらいの回答があると計算していますか。

○事務局

- ・1,000社のうち約4割の回答があると想定しております。

○委員長

- ・これまでの様々な調査を行ってきた実績による想定でしょうか？

○事務局

- ・アンケート調査の実施において、統計上約400の回答が必要と言われております。郵送調査では、中小企業者の生の声が聞こえないなどがあるので、来年度以降は、従来どおりの訪問調査を行っていきたいと考えています。

○D委員

- ・今後アンケート調査を行うときに電子回答ができるようにしてほしいです。

○事務局

- ・対応できるようにしていきます。

【協議事業 日田市中小企業振興計画の改定（今後のスケジュール）について】

○事務局

- ・資料③により、推進会議を年4回開催。
- ・専門部会、事務局、市議会等の日程についての説明。

○H委員

・専門部会について、どのような構成ですか。

○事務局

・専門部会については、各機関から推薦をいただいております。その推薦者から構成されています。推進会議委員で専門部会に出席される方もおられます。

【その他 各機関の現状について】

○A委員

・今年3月に卒業した高校生の就職についてです。今年卒業した高校生が907人の内224人は就職希望者で、全員内定をいただいております。求人募集は、令和3年度と比べると28%多く、408人の求人がございました。就職希望者が、希望する業種及び企業に就職できたことにお礼申し上げます。来年3月に卒業する高校生にも、希望する業種及び企業に就職できるようにお願いいたします。

○B委員

・今年は、BCP作成支援に力を入れてきたいと考えております。令和2年7月豪雨から時間が空いていますので、もう一度、事業者にはBCPの重要性を伝えていきながら、BCPの作成支援をしていきたいと考えております。また、国が力を入れている事業承継についても力をいれていきます。コロナ禍が明けたということで巡回相談支援にも力を入れていきたいです。

○C委員

・日田市ビジネスサポートセンターと連携し、創業や事業継続のために支援を行っていききたいと考えております。日田市の事業をうまく活用しながら市内の中小企業者の相談を行っていききたいと考えております。

○D委員

・中小企業振興条例の中に「中小企業の自助努力」の記載があるように、企業の見直しを図り経営者同士が情報や連携を図り、地域に根付いた経営を考えてまいります。条例を深く勉強し、貢献できるよう努めてまいりたいと思っています。今後、様々な機関との連携が必要となってくるので、今後ともよろしく申し上げます。

○E委員

・コロナ禍の3年間は苦しい期間でした。コロナ禍では、行政による様々な施策で救われてきました。コロナ禍が終了し、行政からの施策が終了したときに、本当の課題が浮き彫り

になってくると感じており、皆様と話し合いながら対応をしていきたいと考えています。

○F委員

・今年の事業として5年先の日田市を見据えて、「日田市中期ビジョン策定」を行っており、一つの方向を向いて日田市のために貢献していきたいと考えております。中小企業基本条例を知らない経営者や役員等がいますので、周知を行っていき、日田市のために貢献をしていきたいと考えております。

○G委員

・原材料高騰により20%ぐらい仕入れが高騰しているので、昨年末から価格転嫁を行っています。価格転嫁したことで、3月から売上が30%~35%増加しているが、5月のGW明けから動きが悪くなっていると感じています。人の動きが10分の1ぐらいと感じており、売上也人の動きに伴い落ちてきていると思います。売上が減少したから値下げをするのではなくこのまま転嫁した経営状態で努力する必要があると思っています。人材の確保はコロナ禍の3年間は人材も少なく厳しい状況でした。昨年ぐらいからは、人材が少しずつ増えてきています。人材を確保するためには、賃金を上げる等の課題があります。

○H委員

・建設業は人材確保が厳しい状況です。特に若い人の確保が難しく、確保のために考えていきます。

○I委員

・人口が減少しているため、売上を増加するためには、待っているだけでは売上が増加しない状況であります。そのため、営業を行っています。しかし、営業だけでは、限界があるので、SNSなどで周知していく必要があります。BASE ネットショップでは、ネット上に商品を登録することで、SNSと連動しているため、周知にもつながります。現在、BASE ネットショップを勉強しており、軌道に乗り出すといいと思っています。

○J委員

・オレオレ詐欺が減少してきたと感じていたが、また、出てきてる感じがします。オレオレ詐欺撲滅の啓発活動を行います。川開き観光祭では、観光客のごみ問題があります。観光客が、家の敷地内にごみを捨てていく事例が発生しています。個人の問題ではありますが、各自のごみは持って帰ってほしいです。

○オブザーバー

・人口減少問題、カーボンニュートラル、先端技術の推進については、中小企業者の活躍が必要となると考えています。原油価格の高騰による価格転嫁、企業のDX化の推進

などにも支援を行ってまいります。

今年、ツールド九州、来年はデスティネーションキャンペーン、令和7年には大阪万博が開催されますことから、多くの方が日田を訪れ、ビジネスチャンスが生まれるように市と協力し中小企業のみなさまの支援をしていきたいと考えております。

○事務局

・次回日程 令和5年7月26日（水） 14：00～

【閉会】 15：30頃終了